

天気な ブループ紹介



「ロマンじんせき」を
結成して1年

なんとなく行き詰まりを感じる日々の生活、話題といえば過疎と高齢化のことはかり、何か夢を持ちたい、みんなで何か楽しいことは出来ないかなと思つていた昨年（平成18年）の2月ころ、琴、尺八の演奏が出来る人がいて、日本舞踊を習つていてる人がいる、歌も歌える人がいるということ、それなら皆の力を結集して生の演奏をバツクに歌と踊りが入った楽しいステージが出来るのではないかと夢が膨らんできました。

なんとなく行き詰まりを感じる日々の生活、話題といえば過疎と高齢化のことばかり；何か「夢」を持ちたい、みんなで何か楽しいことは出来ないかなと思つていた昨年（平成18年）の2月ごろ、琴、尺八の演奏が出来人がいて、日本舞踊を習つている人がいる、歌も歌える人がいるということ、それなら皆の力を結集して生の演奏をバツクに歌と踊りが入った楽しいステージが出来るのではと夢が膨らんできました。

うなかに、まったく初めての保育所、小学校の子供たちが加わり、6月から練習を始めました。なにもかにも初めてのことばかり、分からぬことばかりでしたが、秋、豊松での町文化連盟の総合文化祭での発表にむけて暑い中、一生懸命練習にとりくみました。

とりわけ故郷のこととはいえ、岡山県から毎週通つて踊りを指導してくれださった花柳利芳美先生には、心から感謝いたしております。

で協力してつくりあげる喜びと、楽しきを味わうことができました。多くの方々のあたたかいご声援で初めての子供たちも元気が出、続けて行く気力が充実しているようでその後も毎週の練習に打ち込んでいます。私たちはずべてに未熟で、学ばなければならぬことばかりですが、お互いに主役になり、脇役になりながらレベルアップを目指して努力し、一人ひとりが楽しみつつ協力しあつて楽しいグループになるようにと頑つて

編集後記

今回の9月定例会には18年度決算が提案され、異例の17日間に亘る議会となりました。厳しい財政の中で、県立病院をどうするか、井関定住団地は、和牛の里構想は、集落法人など当面の課題に学校適正配置方針が検討課題

題に加わりました。議論は
つきません。